

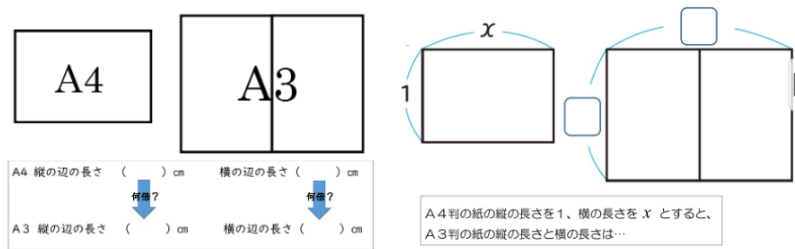
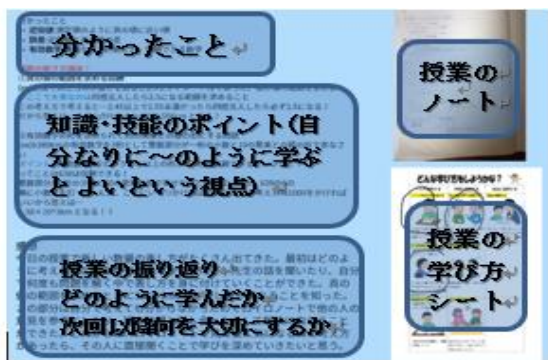


学年	第3学年
教材	「平方根」大日本図書 教科書 p44～77 「平方根の利用」
活用したソフト・アプリ	・ロイロノートスクール 
活用の場面	授業全体を通じた効果的な活用
活用した ICT 機器	・教師用 iPad ・iPad (生徒一人一台) ・大型モニター (教室備え付け)
活用の実際	<p><b>問題の場面を理解する場面での活用</b></p> <p>倍率の確認や A3 と A4 の関係性の確認を大型モニターを活用し説明を行いました。ここでは日常とつなげるために、「係の活動のポスターを後輩に配布する」という設定をし、教室に掲示するには A4 サイズでは小さいから、A3 サイズにして見やすくしようという思いをもたせた。</p>  <p>その後、倍率の予想を立てた。多くの子が面積が2倍になるので200%と予想したため、事前に撮影した、200%では失敗する動画を見せ、疑問を膨らませた。そのため、教科書を見て倍率を確認したところ、141%になることを知り、「なぜだろう」ということを課題化した。</p> <p><b>個人追究の場面での活用</b></p>  <p>倍率が141%になる理由を考える          考えが生まれた生徒から提出箱に提出する。          (共有をかけて個人追究中も考えの参考にしてできるようにしている。)</p> <p>ロイロノートの資料箱にヒントカードを入れておき自由に取り出せるようにする。</p> <p><b>全体交流の場面での活用</b></p> <p>考えをすでに共有しているので、その中でみんなで考えたい意見をピックアップし全体交流を進める。今回は、実測して考えた仲間の意見を画面共有し、「どのように考えたか分かる？」と投げかけた。その後、文字で考えた汎用的な考え方のよさに触れる。また、「他の用紙でも同じことが言えるのか」新たな問いを投げかけ、考え方を発展させた。また実際にその場で141%で拡大すると上手くいくか、ライブ中継を行い、実感を伴って141%であることを理解させた。</p> <p><b>終末での活用場面</b></p>  <p>画面収録をして、学んだことを整理している。今回は、新たな問いに対して一人一人が考え画面収録を行った。学びがアウトプットでき、自分の収録を聞き直ししながら何回も撮る生徒もいた。振り返りシートを本時の学び方の視点で振り返る。どのような学び方が効果的だったかまとめ、次時に繋げられるようにした。画面収録は「思考・判断・表現」の評価基準の授業の際に取り入れ、生徒の学びを評価するのにも活用している。(左はその画面収録の一例)</p>
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・200%で失敗する動画や、141%で成功するライブ中継は実感を伴って理解させるのに効果的であった。</li> <li>・画面収録を繰り返す中で、子供たちも自分の収録したものを聞き直し、さらに仲間に伝わりやすい表現を目指す子供が増えてきた。</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体交流でのロイロノートを活用した交流の在り方について、今後さらに考えていく必要がある。</li> <li>・終末の振り返りの仕方は、画面収録は1つの形とて定着してきたが、さらに効果的なものがないか模索中である。</li> </ul>